



B コマンド


この章では、B で始まる Cisco Nexus 1010 コマンドについて説明します。

bandwidth (インターフェイス)

インターフェイスに継承帯域幅および受信帯域幅を設定するには、**bandwidth** コマンドを使用します。デフォルトの値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

bandwidth {*kbps*}

no bandwidth {*kbps*}

| | | |
|---|---|--|
| シンタックスの説明 | <i>kbps</i> | 想定されている帯域幅 (キロビット/秒) を指定します。有効な値は、1 ~ 10000000 です。 |
| デフォルト | 1000000 kbps | |
| コマンド モード | インターフェイス コンフィギュレーション (config-if) | |
| サポートされるユーザの役割 | network-admin | |
| コマンドの履歴 | リリース | 変更内容 |
| | 4.0(4)SP1(1) | このコマンドが追加されました。 |
| 使用上のガイドライン | bandwidth コマンドは、現在の帯域幅を上位のプロトコルに通知するだけの情報パラメータを設定します。このコマンドを使用してインターフェイスの実際の帯域幅は調整できません。 | |
|  (注) | これはルーティング パラメータ専用のコマンドです。物理インターフェイスには影響しません。 | |

■ bandwidth (インターフェイス)

例

次に、帯域幅 30000 kbps を設定する例を示します。

```
switch(config-if)# bandwidth 30000
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|-----------------------|----------------------|
| show interface | インターフェイスの設定情報を表示します。 |

banner motd

Message of the Day (MOTD) バナーを設定するには、**banner motd** コマンドを使用します。

banner motd [*delimiting-character message delimiting-character*]

no banner motd [*delimiting-character message delimiting-character*]

シンタックスの説明

| | |
|-----------------------------|---|
| <i>delimiting-character</i> | (任意) メッセージ テキストの先頭と末尾を示すために使用される文字を指定します。たとえば、次のメッセージでは区切り文字は # です。 #Testing the MOTD# |
| <i>message</i> | バナー メッセージを指定します。40 行以下で 1 行あたり最大 80 文字の制限があります。 |

デフォルト

デフォルトの MOTD は「User Access Verification」です。

コマンド モード

コンフィギュレーション (config)

コマンドの履歴

| リリース | 変更内容 |
|--------------|-----------------|
| 4.0(4)SP1(1) | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

MOTD バナーは、ユーザがログインするたびにログイン プロンプトの前に端末に表示されます。

メッセージは、40 行以下で 1 行あたり最大 80 文字に制限されます。

複数行の MOTD バナーを作成するには、区切り文字を入力する前に Enter キーを押して、新しい行を開始します。40 行までのテキストを入力できます。

区切り文字を選択するときは、次の注意事項に従ってください。

- メッセージストリング中では区切り文字を使用しないでください。
- " および % を区切り文字として使用しないでください。

例

次に、バナー メッセージに「Testing the MOTD」というテキストを設定してから表示する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# banner motd #Testing the MOTD#
switch(config)# show banner motd
Testing the MOTD
```

次に、複数行の MOTD バナーを設定して表示する例を示します。

```
switch(config)# banner motd #Welcome to authorized users.  
> Unauthorized access prohibited.#  
switch(config)# show banner motd  
Welcome to authorized users.  
Unauthorized access prohibited.
```

次に、デフォルトの MOTD バナーに戻す例を示します。

```
switch# config terminal  
switch(config)# no banner motd  
switch(config)# show banner motd  
User Access Verification
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|-------------------------|-----------------|
| show banner motd | MOTD バナーを表示します。 |

boot auto-copy

ブート イメージ ファイルがスタンバイ VSM に自動的にコピーされるようにするには、**boot auto-copy** コマンドを使用します。自動コピーをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

boot auto-copy

no boot auto-copy

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト イネーブル

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割 network-admin

| コマンドの履歴 | リリース | 変更内容 |
|---------|--------------|-----------------|
| | 4.0(4)SP1(1) | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン イメージ ファイルの自動コピーをイネーブルにすると、Cisco NX-OS ソフトウェアはブート変数によって参照されているイメージ ファイルをスタンバイ VSM にコピーします。イメージ ファイルは、アクティブな VSM のローカル メモリに存在する必要があります。キックスタート変数およびシステム ブート変数については、スタンバイ VSM 用に設定されているイメージ ファイルだけがコピーされます。

例 次に、スタンバイ VSM へのブート イメージ ファイルの自動コピーをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# boot auto-copy
Auto-copy administratively enabled
```

| 関連コマンド | コマンド | 説明 |
|--------|------------------|-------------------|
| | copy | ファイルをコピーします。 |
| | show boot | ブート変数の設定情報を表示します。 |

